

シグマ研究委員会 FP 核データ WG  
共鳴パラメータサブグループ会合議事録

日 時 : 昭和 57 年 11 月 10 日 13 : 30 ~ 17 : 30

昭和 57 年 11 月 11 日 9 : 15 ~ 17 : 00

場 所 : 原研東海研究所 研究 2 棟 304 室

出席者 : 松延 (住原工), 中島, 菊池 (原研), 川合 (NAIG), 瑞慶覧 (日立)

配布資料

- (1) 前回議事録 (6/24 ~ 26, 8/25, 26)
- (2) FP 核データ評価作業 (10/21 運営委員会で発表)
- (3)  $^{93}\text{Nb}$  の JENDL-2 評価データのリスト (川合)
- (4) NDES による Resonance parameter の処理の仕方 (川合)
- (5)  $^{93}\text{Nb}$  データのファイル化の為の入力データ一式 (菊池)
- (6) CASTHY 計算の状況 (7/15 現在)

議 事

1. 前回議事録の確認
2. 作業進捗状況の報告

資料(3)に基づいて、共鳴パラメータの評価の進捗状況の確認が行なわれた。その結果ファイル化が 17 核種 (Nb, Mo, Nd), 第 1 次評価が 29 核種 (Kr, Y, Zr-90, Pd, Ag, Cd-111 ~ 116, Sb, Xe, Cs-133, 135, Ba-138, La, Ce-142, Pr) について終了した旨報告があった。

3. 資料(3)~(5)に基づいて、共鳴パラメータの評価からファイル化に至る手順の説明が川合, 菊池の両委員から報告が行なわれた。作られるファイルのデータセット名は、原則として下記のようにつける。

中間ファイル (TSSWK 上) ..... RES×××××. DATA (NDES で  $\sigma_{th}$  check  
ずみの file で ENDF/B 形式のもの)

完成した共鳴パラメータのファイル..... J2198.FP×××××. DATA (RRP)

4. 資料(6)に基づいて CASTHY サブグループの作業進捗状況が川合委員から報告された。
5. 集中作業

菊池委員 : TREPWW 5 コードの改良として, WW 5 の計算機能の追加を検討した。

中島委員 : Cd, Sb, Ag のファイルをチェックした。

松延委員 : Sr-88 の REPSTOR file の numbering を整理した。

瑞慶覧：Sm, Eu, Tbの各アイソトープのREPSTOR file入力データの numbering の見直しと，出典の共通するデータの統合（merge）を行なった。

川合委員：Ru-101の共鳴パラメータの評価を行なった。

Ruアイソトープは，2.6 keV以上のMacklinのデータを除くと低エネルギー側にわずかにあるのみである。また，RPIのデータは共鳴エネルギーだけが報告されているが，これに $\Gamma_n$ ,  $\Gamma_\gamma$ の平均値を仮定すれば，ORELAのデータにつながり得るものもあり，一応それを生かす方向で検討することとした。

## 6. その他

12/16に全体会合を予定する。議題は，①作業進捗状況の報告，②ファイル化について，③積分テストの準備，④その他を予定する。